

# 飼い主のいないねこたちのための不妊手術

## 特定非営利活動法人もりねこ

特定非営利活動法人もりねこは、岩手県全域で飼い主のいないねこや飼育放棄されて行き場をなくしたねこたちを保護し、里親希望者とねこたちを繋ぐ活動も行っています。さらに、ねこの適切飼育などの啓発活動にも力を入れており、人とねこが共生して暮らすことのできる社会の実現を目指しています。

### 【活動背景】

岩手県では、少子高齢化の加速に伴う様々な問題から飼いねこの飼育が困難になる事例が増加しています。また、経済的な理由で不妊去勢手術がされておらず、繁殖して増えたねこたちが原因となる多頭飼育問題も深刻化していました。岩手県には、動物愛護センターのような保護ねこの適切な管理を行える施設ありません。各保健所の職員さんが譲渡を進めるために頑張ってくださっていますが、収容施設にも限りがあり、すべてのねこたちを保護しきれないのが現状です。



### 【助成金の用途・活動結果】

助成金は、飼い主のいないねこの不妊手術のための医療費に充てていただきました。保健所の保護ねこなどを含め1年間で307頭(そのうちメスは180頭)の不妊手術を完了することができ、計算上900頭の不幸な命が増えるのを未然に防ぐことができました。並行して、保健所や社会福祉協議会の方々を対象に、多頭飼育崩壊の予防や不妊手術の重要性を伝えるための講演会も実施し、人とねこの健全な共生社会の実現に向けた大きな一歩となりました。

### 【活動目的】

人間の管理不足のために大量に繁殖してしまったり、多頭崩壊などにより最終的に殺処分されてしまういのちを減らすために、もりねこは手ごろな価格で不妊手術を受けられるスパイクリニック「もりねこ診療所」を開設しました。医療機器をさらに充実させ、保護猫や地域猫たちの不妊手術を促進させることを目指しています。



### 【団体からのメッセージ】

この度は特定非営利活動法人もりねこに助成金を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。  
岩手県、特に郡部ではねこは不妊手術をせずに中外自由にさせて飼うもの、という意識も根強く春になるとねこの保護相談が毎日のように寄せられます。望まれない不幸ないのちを1匹でも減らせるよう、これからも活動してまいります。